

健康 コラム

緩和ケアは いつでも どこでも 誰にでも



秋田厚生医療センター 緩和ケア内科
緩和ケア認定看護師

いとう なおこ
伊藤 直子

緩和ケアとは

「緩和ケア」どこかで聞いたことがあるでしょうか？

緩和ケアは、病気を抱える患者さんやそのご家族の身体や心などの様々なつらさをやわらげ、豊かな人生を送ることができるよう支えていきます。

病気になるといういろいろな症状や、不安な気持ち、仕事や家庭のこと、お金のこと、趣味や友人との関係などたくさんの方がかりがでてくると思います。

患者さんとそのご家族が、たくさんの方がかりを少しでも減らすことで、生活しやすくなり治療を続けていけるよう、緩和ケアチーム（医師、看護師、薬剤師、栄養士、ソーシャルワーカー、リハビリスタッフなど）で支援しています。

いつでも

緩和ケアはがんの末期とっておられる方は大勢います。緩和ケアはもう治療ができなくなった時に受けるものと思われがちですがそれは誤解です。治療する前でも、治療中でも、治療が終わったからでも、緩和ケアは必要だと思った時にいつでも受けられます。

どこでも

緩和ケアは病院だけのものではありません。ご自宅でも、施設でも、あなたが生活する場所で緩和ケアを受けられます。痛みなどのつらい症状を和らげ生活しやすくなること、介護されるご家族の心身の負担を減らしながら、ご本人、ご家族が望む場所で過ごせるよう、かかりつけ医、ソーシャルワーカー、訪問看護ステーション、ケアマネジャーなど地域で活動されている皆さんと連携しています。

誰にでも

緩和ケアはがん患者さんはもちろんですが、心不全や呼吸器の慢性疾患の方など誰でも受けることができます。帯状疱疹後の痛みがなかなか良くならないと緩和ケア外来を受診される方もいます。また、患者さんだけではなく、患者さんと一緒にがんばっておられるご家族も緩和ケアを受けることができます。

緩和ケアでは「その人らしく生活できること」が目標です

健康な時は当たり前にできていたことも病気になるってしまおうと思

うようにできなくなることがあります。病気とうまくつきあいながらその人らしく生活していくためにどうしたいのか、ご本人、ご家族のお気持ちを伺いながら、どうすれば良いかを一緒に考えていきます。

人生において大切なことは人それぞれです。家族と一緒にいることだったり、仕事だったり、花を育てることだったり、友達と話したことだったり、家族に迷惑をかけることだったり。当たり前に思っていることが実は大切にしてきたことだと気づくこともあります。これを機会にご自分が大切にしていることは何か、考えてみてはいかがでしょうか。

あなたが大切にしていることを大切に思っている人と話し合ってみる、ご自分の希望をあらかじめ伝えておく、秋田厚生医療センターでも話し合いのきっかけづくりに取り組み始めています。お気軽にご相談ください。

